

目的



宮城県内の小・中学生及び高校生が、様々な分野の研究や探究活動に対して、意見交流や成果発表の場を提供するとともに、各学校段階での探究的な活動への取組を推進し、生徒の思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

実施内容

【参加対象】 ※参加者数(中学生：11題数、27名 高校生：36題数、123名+口頭発表3題数)

県内の国公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校の児童・生徒で参加を希望する者（個人又はグループ）

なお、発表は、個人発表又はグループ発表で行い、発表内容は、総合的な探究の時間などで取組んだ課題研究等の研究活動・探究活動によるものとし、**自然科学系・社会科学系のジャンル**は問わない。

【発表形態】

- ・口頭発表（発表時間8分、質疑応答5分）
- ・ポスター発表（前後半で分かれ、各35分間内で繰り返し発表を行い、聴衆とディスカッションを実施）

発表後に発表の振り返りの時間を設け、新たな課題設定および研究の見直しを行い、今後の深化につながる時間とする。

【基調講演】 地元大学の有識者による講演を実施。

今回は、「3Dプリンタを用いて作るプロダクトデザインと建築」

※情報科学系の参加を加えることでDXハイスクール校の参加も推進している。

